

株 主 各 位

山口県山口市仁保下郷10317番地
株式会社 秋 川 牧 園
代表取締役社長 秋 川 正

第42回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第42回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができませんので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2021年6月28日（月曜日）午後5時（営業時間終了時）までに到着するようご返送くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 日 時 | 2021年6月29日（火曜日）午後2時 |
| 2. 場 所 | 山口県山口市湯田温泉3丁目2番7号
セントコア山口 2階 サファイア
(末尾の会場ご案内図をご参照ください。)
※会場と開始時間が前回と異なっておりますので、お間違えのないようご注意ください。 |
| 3. 目 的 事 項
報 告 事 項 | 1. 第42期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の第42期連結計算書類監査結果報告の件 |
| 決 議 事 項
第 1 号 議 案 | 剰余金処分の件 |
| 第 2 号 議 案 | 当社と有限会社あきかわ牛乳との合併契約承認の件 |

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。また、資源節約のため、この「招集ご通知」をご持参くださいますようお願い申しあげます。

本年も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、株主総会終了後のグループ集会及びお土産については中止いたします。

本招集ご通知に添付すべき書類のうち、連結計算書類の注記事項及び計算書類の注記事項につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト

(アドレス <https://www.akikawabokuen.com/>) に掲載しておりますので、本招集ご通知添付書類には記載していません。

従いまして、本定時株主総会招集ご通知添付書類に記載している連結計算書類及び計算書類は、会計監査人及び監査役がそれぞれ会計監査報告及び監査報告を作成するに際して監査をした連結計算書類及び計算書類の一部であります。

なお、事業報告、連結計算書類、計算書類及び株主総会参考書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト

(アドレス <https://www.akikawabokuen.com/>) に掲載させていただきます。

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について

当社、第42回定時株主総会にあたり、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた当社の対応について、以下のとおりご案内申し上げます。

**今回の株主総会におかれましては、書面による事前の議決権行使をご検討ください。**

(ご来場される株主様へのお願い)

・ご来場の株主様におかれましては、マスクのご着用、咳エチケットにご協力をお願いいたします。

・当日は、会場入り口での検温を実施させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

・検温の結果、体温が37.5℃以上の株主様、頻繁に咳込む株主様、体調不良とお見受けする株主様、マスクの着用及び検温にご協力いただけない株主様につきましては、ご入場をお断りする場合がございますので、ご了承ください。

・施設内におきましては、アルコール消毒のご協力をお願いいたします。

・当社運営スタッフ等は、マスクを着用して対応させていただきます。

・例年、株主総会終了後に開催するグループ集会及びお土産については、中止といたします。

今後の状況により株主総会の運営に大きな変更が生じる場合は、下記当社ウェブサイトにおいてお知らせいたします。

アドレス <https://www.akikawabokuen.com/>

以上、株主の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## (添付書類)

# 事業報告

( 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで )

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ①事業の経過及び成果

当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費を中心に経済活動が急速に収縮し、その後の段階的な経済活動の再開により持ち直しの動きが見られたものの、2021年1月には再び緊急事態宣言が発出されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

その一方で、感染予防意識の高まりにより内食及び宅配需要が拡大したため、当社グループでは生活協同組合及び宅配会社を主な販売先とする生産卸売事業と、宅急便をメインとして広く国内の消費者にお届けする当社の直販事業の双方において、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高の増加要因に加えて、冷凍食品工場及び鶏肉一次処理場の生産性向上、生産子会社における鶏卵の生産成績の改善などにより大幅な増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、64億17百万円(前連結会計年度比10.8%増)、営業利益は2億65百万円(同181.2%増)、経常利益は2億88百万円(同137.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億69百万円(同136.6%増)となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

| 事業区別   | 売上高(百万円)           |                    | 営業利益(百万円)          |                    |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
|        | 第41期<br>(2020年3月期) | 第42期<br>(2021年3月期) | 第41期<br>(2020年3月期) | 第42期<br>(2021年3月期) |
| 生産卸売事業 | 4,730              | 4,984              | 382                | 559                |
| 直販事業   | 1,059              | 1,433              | 30                 | 45                 |

#### (生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主な販売先である生活協同組合及び宅配会社において、新型コロナウイルスの影響で需要が拡大したため、鶏肉及び冷凍加工食品を中心に売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高の増加要因に加えて、冷凍食品工場及び鶏肉一次処理場の生産性向上、生産子会社における鶏卵の生産成績の改善などにより大幅な増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、49億84百万円（前連結会計年度比5.4%増）、営業利益は5億59百万円（同46.2%増）となりました。

#### (直販事業)

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、新型コロナウイルスの影響で、自社便と宅急便配達の双方について、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、会員拡大に向けた会員募集費の増加がありましたが、売上高の増加要因に加えて、ピッキング及び配送の効率化などにより増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、14億33百万円（前連結会計年度比35.3%増）、営業利益は45百万円（同47.8%増）となりました。

#### ②設備投資の状況

当連結会計年度において実施した企業集団の設備投資額は3億80百万円であり、この中には鶏卵生産の子会社である(有)篠目三谷における定期的な採卵鶏の取得（1億18百万円）を含んでおります。

これ以外で主なものは、子会社の(株)チキン食品における技能実習生用の社宅（20百万円）、子会社の(有)菊川農場における堆肥舎（15百万円）などです。

#### ③資金調達の状況

当連結会計年度におきましては、当社及び子会社において銀行などからの借入により2億50百万円の資金調達を行いました。

## (2) 財産及び損益の状況の推移

| 区 分                 | 第39期<br>(2018年3月期) | 第40期<br>(2019年3月期) | 第41期<br>(2020年3月期) | 第42期<br>(当連結会計年度)<br>(2021年3月期) |
|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 売 上 高(千円)           | 5,498,830          | 5,623,299          | 5,790,005          | 6,417,643                       |
| 経 常 利 益(千円)         | 128,914            | 130,751            | 121,193            | 288,370                         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 85,460             | 135,159            | 71,834             | 169,973                         |
| 1株当たり当期純利益          | 20円50銭             | 32円42銭             | 17円23銭             | 40円77銭                          |
| 総 資 産(千円)           | 5,036,398          | 5,092,988          | 5,082,363          | 5,378,494                       |
| 純 資 産(千円)           | 1,573,955          | 1,696,482          | 1,733,376          | 1,920,136                       |
| 1株当たり純資産額           | 377円50銭            | 406円85銭            | 415円56銭            | 460円17銭                         |

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を第40期の期首から適用しており、第39期の総資産の金額については、当該会計基準を遡って適用した後の金額となっております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社との関係

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名      | 資 本 金    | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容   |
|------------|----------|----------|-----------|
| 有限会社あきかわ牛乳 | 50,000千円 | 100%     | 牛 乳 の 製 造 |
| 有限会社篠目三谷   | 10,000   | 49       | 鶏 卵 の 生 産 |
| 株式会社ゆめファーム | 500      | 48       | 青 果 の 生 産 |
| 有限会社菊川農場   | 3,000    | 100      | 若 鶏 の 生 産 |
| 株式会社チキン食品  | 60,000   | 100      | 生 鳥 の 処 理 |
| 有限会社むつみ牧場  | 3,000    | 48       | 原 乳 の 生 産 |

(注) (有)篠目三谷、(株)ゆめファーム及び(有)むつみ牧場については、持分の取得及び取引関係により、実質的に支配していると認められる状況であるため、連結の範囲に含めるものではありません。

#### (4) 対処すべき課題

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、変異種の要因もあり、依然として出口の見えない厳しい情勢が続いております。その中で、ベーシックな食材の提供という社会的責任を担う当社グループには、関連する様々なリスクに的確に対処し、引き続き安定的な事業活動を確保することが、当面の最重要課題であると考えております。その上で、2021年4月からスタートした新・中期計画では、当社グループのブランド力と成長力のさらなる向上に向けて、4つの基本戦略を柱に様々な課題に取り組んでまいります。

##### ① FARM進化戦略

当社グループは創業以来、理想の農業を追求する中で、既存の農業の枠には収まらない、新しい企業形態に進化してきました。重視する機能は、F（Farming 健康に育てる）、A（Add value 加工などで価値を高める）、R（Relationship 消費者と信頼関係をつくる）、そして、M（Management よい経営を実現する）の4つです。今後も各々の機能をさらにブラッシュアップしていくことで、ブランド力と成長力を高めてまいります。

##### ② ファン化戦略

当社グループではこの間、ブランドの確立に向けての取り組みを進め、知名度の向上や販路の拡大など、一定の成果を得ることができました。そこで、商品、販売、コミュニケーションを柱とするブランド戦略をさらに強化し、当社グループの理念に共感する「秋川牧園ファン」を増やしていくことで、ブランド力と成長力を高めてまいります。

##### ③ 成長基盤強化戦略

安心安全な食を宅配という形態をメインにしてお届けする当社グループにとって、現在は今後のさらなる成長に向けてのチャンスであると認識しています。そこで、人材、加工設備、農場、情報システムといった事業基盤の強化と整備を進め、当社グループのさらなる成長を実現してまいります。

##### ④ SDGs戦略

創業以来、健康で安全な食づくりを通して、持続可能な社会を目指してきた当社グループにとって、SDGsは親和性の高い考え方です。そこで、今後の新たな価値創造の羅針盤として、SDGsの概念を積極的に取り入れ、温暖化ガスの削減や脱プラスチックなど、新たなテーマへのチャレンジを強化してまいります。また、その取り組みの状況を情報発信していくことで、当社グループのブランド力向上に繋げてまいります。

(5) 主要な事業内容 (2021年3月31日現在)

| 事業区分   | 主要な商・製品                            |
|--------|------------------------------------|
| 生産卸売事業 | 食肉 冷凍加工食品 鶏卵 牛乳 乳製品                |
| 直販事業   | 食肉 冷凍加工食品 鶏卵 牛乳<br>乳製品 青果 一般食品等の宅配 |

(6) 主要な営業所及び工場 (2021年3月31日現在)

|            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 当 社        | 本社及び工場：山口県山口市<br>大阪事業所：大阪府茨木市 |
| 有限会社あきかわ牛乳 | 本社及び工場：山口県山口市                 |
| 有限会社篠目三谷   | 本社：山口県山口市                     |
| 株式会社ゆめファーム | 本社：山口県山口市                     |
| 有限会社菊川農場   | 本社：山口県下関市                     |
| 株式会社チキン食品  | 本社：山口県山口市<br>工場：熊本県玉名郡南関町     |
| 有限会社むつみ牧場  | 本社：山口県萩市                      |

(7) 従業員の状況 (2021年3月31日現在)

企業集団の従業員の状況

| 従業員数 | 前連結会計年度末比増減数 |
|------|--------------|
| 288名 | 12名増         |

(注) 従業員数は就業員数であり、上記の他、臨時社員及びパート社員が171名（年間の平均人員）おります。

(8) 主要な借入先の状況 (2021年3月31日現在)

| 借 入 先          | 借 入 額     |
|----------------|-----------|
| 株式会社山口銀行       | 820,029千円 |
| 株式会社日本政策金融公庫   | 726,480   |
| 株式会社みずほ銀行      | 201,647   |
| 株式会社三菱UFJ銀行    | 160,056   |
| 株式会社三井住友銀行     | 100,000   |
| 山口県信用農業協同組合連合会 | 67,513    |

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況（2021年3月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 8,000,000株
- ② 発行済株式の総数 4,179,000株
- ③ 株主数 1,873名
- ④ 大株主（上位10名）

| 株主名            | 持株数        | 持株比率  |
|----------------|------------|-------|
| 秋川正            | 1,137,700株 | 27.3% |
| 秋川實            | 433,700    | 10.4  |
| 秋川牧園職員持株会      | 307,800    | 7.4   |
| 株式会社山口銀行       | 200,000    | 4.8   |
| 秋川喜代子          | 131,000    | 3.1   |
| 秋川寿子           | 129,300    | 3.1   |
| 山口県信用農業協同組合連合会 | 120,000    | 2.9   |
| 伊藤忠飼料株式会社      | 106,000    | 2.5   |
| 秋川茂            | 69,600     | 1.7   |
| 中村昌子           | 56,200     | 1.3   |

（注）持株比率は自己株式数（9,877株）を控除して計算しております。

### (2) 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

### (3) 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対し交付した株式の状況

該当事項はありません。

#### (4) 会社役員 の 状況

##### ① 取締役及び監査役の状況 (2021年3月31日現在)

| 会社における地位  | 氏 名       | 担当及び重要な兼職の状況                             |
|-----------|-----------|------------------------------------------|
| 代表取締役会長   | 秋 川 實     | 秋川食品(常州)有限公司董事長<br>秋川農牧(リツ陽)有限公司董事長      |
| 代表取締役社長   | 秋 川 正     | ㈱ゆめファーム代表取締役社長                           |
| 取 締 役     | 甲 斐 利 光   | 営 業 部 長<br>デ イ リ ー 事 業 部 長               |
| 取 締 役     | 田 村 次 郎   | 生 産 部 長<br>㈱チキン食品代表取締役社長<br>㈱篠目三谷代表取締役社長 |
| 取 締 役     | 内 田 恭 彦   | 国立大学法人山口大学<br>経済学部教授<br>日本知的資産経営学会理事     |
| 常 勤 監 査 役 | 徳 光 隆 司   |                                          |
| 監 査 役     | 江 藤 龍 夫   | 菓仙石灰㈱代表取締役社長<br>菓仙運輸㈱代表取締役社長             |
| 監 査 役     | 宇 佐 美 理 世 | リソラ社会保険労務士法人<br>代表社員<br>山口県社会保険労務士会副会長   |

- (注) 1. 取締役内田恭彦氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役徳光隆司氏、監査役江藤龍夫氏及び監査役宇佐美理世氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役徳光隆司氏は、金融機関における長年の経験があるなど、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものです。
4. 当社は、社外取締役内田恭彦氏並びに社外監査役徳光隆司氏、江藤龍夫氏及び宇佐美理世氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## ② 取締役及び監査役の報酬等

### イ. 取締役の報酬等の決定方針について

当社は、2021年1月22日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。

また、取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

#### a. 取締役の個人別の報酬等（業績連動報酬等及び非金銭報酬等のいずれでもないものに限る。）の額またはその算定方法の決定に関する方針

各取締役の報酬等の額は、取締役会の一任を得た代表取締役社長が各役員を担当業務、業務における貢献・実績、経営環境等を総合的に勘案し、代表取締役会長と協議の上、決定する。

ただし、代表取締役会長及び代表取締役社長の報酬等の額については、代表取締役社長が取締役に提案し、取締役会の決議をもって決定する。

報酬制度については、定額報酬のみとする。（各役員に応じて決定し、金銭で支給）

※取締役の報酬限度額は、2020年6月23日開催の第41回定時株主総会において、年額500万円以内（うち社外取締役分300万円以内）（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議している。

#### b. 上記 a の報酬等の額、業績連動報酬等の額又は非金銭報酬等の額の取締役の個人別の報酬等の額に対する割合の決定に関する方針 報酬制度については、定額報酬100%とする。 （業績連動報酬等については、今後の検討課題とする。）

#### c. 取締役に対し報酬等を与える時期又は条件の決定に関する方針

取締役に対し報酬等を与える時期は、定額報酬のみであり、毎月12日に支給する。条件の決定については、毎年6月に決定し、翌月（7月）より適用する。

ロ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分             | 員 数       | 基本報酬の額              |
|-----------------|-----------|---------------------|
| 取 締 役 (うち社外取締役) | 5名<br>(1) | 44,752千円<br>(1,320) |
| 監 査 役 (うち社外監査役) | 3<br>(3)  | 5,280<br>(5,280)    |
| 合 計             | 8         | 50,032              |

- (注) 1. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、2020年6月23日開催の第41回定時株主総会において年額500万円以内(うち社外取締役分300万円以内)と決議いただいております。当該株主総会最終時点の取締役の員数は、5名(うち社外取締役1名)です。
3. 監査役の報酬限度額は、2008年6月25日開催の第29回定時株主総会において年額100万円以内と決議いただいております。当該株主総会最終時点の監査役の員数は、3名(うち社外監査役2名)です。
4. 上記には、当事業年度における役員退職慰労引当金の増加額4,552千円(取締役5名に対し4,072千円、監査役3名に対し480千円(うち社外監査役3名に対し480千円))が含まれております。
5. 各取締役の報酬等の額は、取締役会の一任を得た代表取締役社長秋川正が各役員を担当業務、業務における貢献・実績、経営環境等を総合的に勘案し、代表取締役会長秋川實と協議の上、決定しております。
- また、代表取締役会長及び代表取締役社長の報酬等の額については、代表取締役社長が取締役会に提案し、取締役会の決議をもって決定しております。

③ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- 社外取締役 内田恭彦氏

国立大学法人山口大学経済学部教授及び日本知的資産経営学会理事を兼職しておりますが、当社との特別な関係はありません。

- 社外監査役 江藤龍夫氏

薬仙石灰㈱代表取締役社長及び薬仙運輸㈱代表取締役社長を兼職しておりますが、当社との特別な関係はありません。

- 社外監査役 宇佐美理世氏

リソラ社会保険労務士法人代表社員及び山口県社会保険労務士会副会長を兼職しておりますが、当社との特別な関係はありません。

ロ. 他の法人等の社外役員等としての重要な兼任の状況及び当社と当該他の法人等との関係

該当事項はありません。

ハ. 当事業年度における主な活動状況

・ 社外取締役 内田恭彦氏

当事業年度に開催した取締役会14回のうち12回に出席いたしました。経営学博士としての豊富な経験と専門知識を活かし、社外取締役として適宜助言・提言をいただいております。

・ 社外監査役 徳光隆司氏

当事業年度に開催した取締役会14回のすべてに出席し、適宜助言・提言をいただいております。

また、当事業年度に開催した監査役会11回のすべてに出席し、発言は出席の都度適宜に行われ、監査に関する重要事項の協議を行っております。

・ 社外監査役 江藤龍夫氏

当事業年度に開催した取締役会14回のうち11回に出席し、適宜助言・提言をいただいております。

また、当事業年度に開催した監査役会11回のうち9回に出席し、発言は出席の都度適宜に行われ、監査に関する重要事項の協議を行っております。

・ 社外監査役 宇佐美理世氏

当事業年度に開催した取締役会14回のうち12回に出席し、適宜助言・提言をいただいております。

また、当事業年度に開催した監査役会11回のうち10回に出席し、発言は出席の都度適宜に行われ、監査に関する重要事項等の協議を行っております。

ニ. 責任限定契約の内容の概要

当社は、非常勤社外取締役及び非常勤社外監査役との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。なお、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

#### (4) 会計監査人の状況

① 名称 暁和監査法人

(注) 従来より当社が会計監査を受けている西日本監査法人は、2020年9月1日付で日比谷監査法人と合併し、名称を暁和監査法人に変更しております。

② 報酬等の額

| 区 分                                 | 報 酬 等 の 額 |
|-------------------------------------|-----------|
| 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額              | 17,500千円  |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 17,500千円  |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積り等の算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

③ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

## (5) 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制  
その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は以下のとおりであります。

### ① 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

企業倫理規程を作成し、役職員が法令・定款及び社会規範を遵守した行動をとるための行動規範とする。また、その徹底を図るため、経営管理部においてコンプライアンスの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に役職員教育等を行う。内部監査部門は、経営管理部と連携の上、コンプライアンスの状況を監査する。これら活動は定期的に取り締役会及び監査役会に報告されるものとする。法令上疑義のある行為等について従業員が直接情報提供を行う手段としてコンプライアンス・ホットラインを設置・運営する。

### ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

文書管理規程に従い、取締役の職務執行に係る情報を文書または電磁的媒体（以下、文書等という）に記録し、保存する。取締役及び監査役は、文書管理規程により、常時、これらの文書等を閲覧できるものとする。

### ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

コンプライアンス、環境、災害、品質、防疫及び情報セキュリティ等に係るリスクについては、規則・ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成・配布等を行うものとし、組織横断的リスク状況の監視及び全社対応は経営管理部が行うものとする。新たに生じたリスクについては取締役会において速やかに対応責任者となる取締役を定める。

### ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会は取締役、従業員が共有する全社的な目標を定め、業務担当取締役はその目標達成のために各部門の具体的な目標及び会社の権限分配・意思決定ルールに基づく権限分配を含めた効率的な達成の方法を定め、全社的な業務の効率化を実現するシステムを構築する。

- ⑤ 当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社及びグループ各社における内部統制の構築を目指し、当社グループ各社全体の内部統制に関する担当部署を設けるとともに、当社及びグループ各社間での内部統制に関する協議、情報の共有化、指示・要請の伝達等が効率的に行われるシステムを含む体制を構築する。

- ⑥ 監査役がその補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項並びにその使用人の取締役からの独立性に関する事項  
監査役は、内部監査部門の従業員に監査業務に必要な事項を命令することができるものとし、監査役より監査業務に必要な命令を受けた従業員はその命令に関して、取締役等の指揮命令を受けないものとする。

- ⑦ 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、その他の監査役への報告に関する体制

取締役または従業員は、監査役会に対して、法定の事項に加え、当社及び当社グループに重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況、コンプライアンス・ホットラインによる通報状況及びその内容を監査役が出席する取締役会及び幹部会にて速やかに報告する。その他必要なことは、経営管理部長が随時監査役会へ報告する。

- ⑧ その他監査役が監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役と代表取締役会長及び代表取締役社長との間の定期的な意見交換会を設定する。

当事業年度の、上記業務の適正を確保するための体制の運用状況の主な概要は以下のとおりであります。

- ① 取締役会規程等に基づき、取締役会における決議事項等の意思決定のルールを明確化しております。当事業年度においては、取締役会、幹部会、経営会議、各部門の経営検討会を毎月開催、全員集会を3回開催し、全社的な目標と業務の効率化を実現するための取り組みを行っております。
- ② 財務報告の信頼性確保のため、実施計画に基づき内部監査人を中心に内部統制が機能しているかの監査を行いました。また、内部統制強化委員会を開催し、内部統制の有効性についての評価と検証を行いました。
- ③ リスク管理につきましては、リスク管理ガイドラインに基づき企業経営に重大な影響を与えるリスクの選定と必要な対策を実施いたしました。

# 連結貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目           | 金 額                 | 科 目                  | 金 額                 |
|---------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| (資産の部)        |                     | (負債の部)               |                     |
| <b>【流動資産】</b> | <b>【 2,310,301】</b> | <b>【流動負債】</b>        | <b>【 1,971,486】</b> |
| 現金及び預金        | 926,888             | 支払手形及び買掛金            | 399,605             |
| 受取手形及び売掛金     | 702,967             | 短期借入金                | 1,009,341           |
| 商品及び製品        | 274,925             | リース債務                | 7,129               |
| 仕掛品           | 164,305             | 未払法人税等               | 102,757             |
| 原材料及び貯蔵品      | 78,173              | 賞与引当金                | 38,900              |
| 未収入金          | 119,352             | その他                  | 413,752             |
| その他           | 47,079              | <b>【固定負債】</b>        | <b>【 1,486,872】</b> |
| 貸倒引当金         | △3,390              | 長期借入金                | 1,119,117           |
| <b>【固定資産】</b> | <b>【 3,068,193】</b> | リース債務                | 21,019              |
| (有形固定資産)      | ( 2,745,833)        | 繰延税金負債               | 5,675               |
| 建物及び構築物       | 1,060,644           | 退職給付に係る負債            | 275,532             |
| 機械装置及び運搬具     | 482,606             | 役員退職慰労引当金            | 65,527              |
| 土地            | 1,022,570           | <b>負債合計</b>          | <b>3,458,358</b>    |
| 建設仮勘定         | 64,077              | (純資産の部)              |                     |
| その他           | 115,934             | <b>【株主資本】</b>        | <b>【 1,851,099】</b> |
| (無形固定資産)      | ( 41,494)           | (資本金)                | ( 714,150)          |
| のれん           | 16,113              | (資本剰余金)              | ( 553,441)          |
| その他           | 25,381              | (利益剰余金)              | ( 589,388)          |
| (投資その他の資産)    | ( 280,864)          | (自己株式)               | ( △5,880)           |
| 投資有価証券        | 152,651             | <b>【その他の包括利益累計額】</b> | <b>【 67,405】</b>    |
| 長期貸付金         | 8,191               | (その他有価証券評価差額金)       | ( 67,405)           |
| 繰延税金資産        | 100,260             | <b>【非支配株主持分】</b>     | <b>【 1,630】</b>     |
| その他           | 19,762              | <b>純資産合計</b>         | <b>1,920,136</b>    |
| <b>資産合計</b>   | <b>5,378,494</b>    | <b>負債・純資産合計</b>      | <b>5,378,494</b>    |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 連結損益計算書

（ 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで ）

(単位：千円)

| 科 目             | 金       | 額         |
|-----------------|---------|-----------|
| 売上高             |         | 6,417,643 |
| 売上原価            |         | 4,673,139 |
| 売上総利益           |         | 1,744,504 |
| 販売費及び一般管理費      |         | 1,478,950 |
| 営業利益            |         | 265,554   |
| 営業外収益           |         |           |
| 受取利息            | 236     |           |
| 受取配当金           | 1,243   |           |
| 受取保険金           | 227     |           |
| 補助金収入           | 18,726  |           |
| 補助金収入           | 4,838   |           |
| その他             | 10,254  | 35,525    |
| 営業外費用           |         |           |
| 支払利息            | 11,846  |           |
| その他             | 863     | 12,709    |
| 経常利益            |         | 288,370   |
| 特別利益            |         |           |
| 固定資産売却益         | 1,270   |           |
| 受取保険金           | 7,537   | 8,808     |
| 特別損失            |         |           |
| 固定資産売却損         | 564     |           |
| 固定資産除却損         | 2,131   |           |
| 減損損失            | 13,570  |           |
| 災害による損失         | 4,719   | 20,985    |
| 税金等調整前当期純利益     |         | 276,193   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 130,371 |           |
| 法人税等調整額         | △24,939 | 105,432   |
| 当期純利益           |         | 170,761   |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |         | 788       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |         | 169,973   |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 連結株主資本等変動計算書

（ 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで ）

(単位：千円)

|                              | 株 主 資 本 |         |         |         |           |
|------------------------------|---------|---------|---------|---------|-----------|
|                              | 資 本 金   | 資本剰余金   | 利益剰余金   | 自 己 株 式 | 株主資本合計    |
| 当連結会計年度期首残高                  | 714,150 | 553,441 | 440,261 | △5,880  | 1,701,972 |
| 当連結会計年度変動額                   |         |         |         |         |           |
| 剰 余 金 の 配 当                  |         |         | △20,845 |         | △20,845   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |         |         | 169,973 |         | 169,973   |
| 株主資本以外の項目の<br>当連結会計年度変動額(純額) |         |         |         |         |           |
| 当連結会計年度変動額合計                 | －       | －       | 149,127 | －       | 149,127   |
| 当連結会計年度末残高                   | 714,150 | 553,441 | 589,388 | △5,880  | 1,851,099 |

|                              | その他の包括利益累計額      |                   | 非支配株主持分 | 純資産合計     |
|------------------------------|------------------|-------------------|---------|-----------|
|                              | その他有価証券<br>評価差額金 | その他の包括<br>利益累計額合計 |         |           |
| 当連結会計年度期首残高                  | 30,562           | 30,562            | 842     | 1,733,376 |
| 当連結会計年度変動額                   |                  |                   |         |           |
| 剰 余 金 の 配 当                  |                  |                   |         | △20,845   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |                  |                   |         | 169,973   |
| 株主資本以外の項目の<br>当連結会計年度変動額(純額) | 36,843           | 36,843            | 788     | 37,631    |
| 当連結会計年度変動額合計                 | 36,843           | 36,843            | 788     | 186,759   |
| 当連結会計年度末残高                   | 67,405           | 67,405            | 1,630   | 1,920,136 |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目           | 金 額                 | 科 目               | 金 額                 |
|---------------|---------------------|-------------------|---------------------|
| (資産の部)        |                     | (負債の部)            |                     |
| <b>【流動資産】</b> | <b>【 2,441,520】</b> | <b>【流動負債】</b>     | <b>【 2,015,395】</b> |
| 現金及び預金        | 662,587             | 買掛金               | 712,585             |
| 売掛金           | 700,994             | 短期借入金             | 650,000             |
| 商品及び製品        | 277,754             | 1年内返済予定の長期借入金     | 216,436             |
| 仕掛品           | 155,916             | リース債務             | 2,391               |
| 原材料及び貯蔵品      | 49,367              | 未払金               | 192,797             |
| 前払費用          | 11,224              | 未払費用              | 106,540             |
| 短期貸付金         | 60,716              | 未払法人税等            | 81,972              |
| 未収入金          | 511,076             | 未払消費税等            | 13,833              |
| その他           | 15,273              | 預り金               | 3,903               |
| 貸倒引当金         | △3,390              | 賞与引当金             | 34,635              |
| <b>【固定資産】</b> | <b>【 2,191,091】</b> | その他               | 300                 |
| (有形固定資産)      | ( 1,627,445)        | <b>【固定負債】</b>     | <b>【 842,171】</b>   |
| 建物            | 538,055             | 長期借入金             | 509,384             |
| 構築物           | 118,020             | リース債務             | 8,172               |
| 機械及び装置        | 245,480             | 退職給付引当金           | 259,088             |
| 車両運搬具         | 17,766              | 役員退職慰労引当金         | 65,527              |
| 工具器具備品        | 27,763              | <b>負債合計</b>       | <b>2,857,566</b>    |
| 動産            | 4,380               | (純資産の部)           |                     |
| 土地            | 674,047             | <b>【株主資本】</b>     | <b>【 1,707,638】</b> |
| 建設仮勘定         | 1,930               | (資本金)             | ( 714,150)          |
| (無形固定資産)      | ( 24,682)           | (資本剰余金)           | ( 554,541)          |
| 商標権           | 3,556               | 資本準備金             | 381,030             |
| ソフトウェア        | 19,054              | その他資本剰余金          | 173,511             |
| その他           | 2,070               | (利益剰余金)           | ( 444,828)          |
| (投資その他の資産)    | ( 538,962)          | その他利益剰余金          | 444,828             |
| 投資有価証券        | 152,651             | 繰越利益剰余金           | 444,828             |
| 関係会社株式        | 65,140              | (自己株式)            | ( △5,880)           |
| 長期貸付金         | 244,889             | <b>【評価・換算差額等】</b> | <b>【 67,405】</b>    |
| 繰延税金資産        | 94,784              | (その他有価証券評価差額金)    | ( 67,405)           |
| その他           | 14,179              | <b>純資産合計</b>      | <b>1,775,044</b>    |
| 貸倒引当金         | △32,682             | <b>負債・純資産合計</b>   | <b>4,632,611</b>    |
| <b>資産合計</b>   | <b>4,632,611</b>    |                   |                     |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 損 益 計 算 書

( 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで )

(単位：千円)

| 科 目                     | 金       | 額         |
|-------------------------|---------|-----------|
| 売 上 高                   |         | 6,383,489 |
| 売 上 原 価                 |         | 4,764,552 |
| 売 上 総 利 益               |         | 1,618,936 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     |         | 1,361,017 |
| 営 業 利 益                 |         | 257,919   |
| 営 業 外 収 益               |         |           |
| 受 取 利 息                 | 2,853   |           |
| 受 取 配 当 金               | 51,033  |           |
| 受 取 保 険 金               | 76      |           |
| 補 助 金 収 入               | 1,189   |           |
| そ の 他                   | 5,507   | 60,660    |
| 営 業 外 費 用               |         |           |
| 支 払 利 息                 | 9,040   |           |
| そ の 他                   | 21      | 9,062     |
| 経 常 利 益                 |         | 309,517   |
| 特 別 利 益                 |         |           |
| 固 定 資 産 売 却 益 金         | 34      |           |
| 受 取 保 険 金               | 275     | 310       |
| 特 別 損 失                 |         |           |
| 固 定 資 産 売 却 損           | 287     |           |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 1,625   |           |
| 減 損 損 失                 | 186     |           |
| 災 害 に よ る 損 失           | 193     |           |
| 関 係 会 社 株 式 評 価 損       | 49,125  |           |
| 貸 倒 引 当 金 繰 入           | 32,682  | 84,100    |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |         | 225,727   |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 104,386 |           |
| 法 人 税 等 調 整 額           | △21,979 | 82,406    |
| 当 期 純 利 益               |         | 143,320   |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 株主資本等変動計算書

( 2020年4月1日から  
2021年3月31日まで )

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本 |           |         |               |           |               |           |               | 自己株式      | 株 主 資 本 計 合 |
|-------------------------|---------|-----------|---------|---------------|-----------|---------------|-----------|---------------|-----------|-------------|
|                         | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |         |               | 利 益 剰 余 金 |               |           | 利 益 剰 余 金 計 合 |           |             |
|                         |         | 資 準 備     | 本 金     | そ の 他 資 剰 余 金 | 資 剰 余 金 計 | そ の 他 剰 余 金 計 | 利 益 剰 余 金 |               |           |             |
| 当 期 首 残 高               | 714,150 | 381,030   | 173,511 | 554,541       | 322,353   | 322,353       |           | △5,880        | 1,585,163 |             |
| 当 期 変 動 額               |         |           |         |               |           |               |           |               |           |             |
| 剰 余 金 の 配 当             |         |           |         |               | △20,845   | △20,845       |           |               | △20,845   |             |
| 当 期 純 利 益               |         |           |         |               | 143,320   | 143,320       |           |               | 143,320   |             |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) |         |           |         |               |           |               |           |               |           |             |
| 当 期 変 動 額 合 計           | -       | -         | -       | -             | 122,475   | 122,475       |           | -             | 122,475   |             |
| 当 期 末 残 高               | 714,150 | 381,030   | 173,511 | 554,541       | 444,828   | 444,828       |           | △5,880        | 1,707,638 |             |

|                         | 評 価 ・ 換 算 差 額 等         |                     | 純 資 産 合 計 |
|-------------------------|-------------------------|---------------------|-----------|
|                         | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 |           |
| 当 期 首 残 高               | 30,562                  | 30,562              | 1,615,726 |
| 当 期 変 動 額               |                         |                     |           |
| 剰 余 金 の 配 当             |                         |                     | △20,845   |
| 当 期 純 利 益               |                         |                     | 143,320   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) | 36,843                  | 36,843              | 36,843    |
| 当 期 変 動 額 合 計           | 36,843                  | 36,843              | 159,318   |
| 当 期 末 残 高               | 67,405                  | 67,405              | 1,775,044 |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 連結計算書類に係る会計監査報告 謄本

### 独立監査人の監査報告書

2021年5月18日

株式会社秋川牧園  
取締役会 御中

暁和監査法人  
広島事務所

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 大藪俊治 ㊟

業務執行社員 公認会計士 日浦祐介 ㊟

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社秋川牧園の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社秋川牧園及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評

価する。

- 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査報告 謄本

## 独立監査人の監査報告書

2021年5月18日

株式会社秋川牧園  
取締役会 御中

暁和監査法人  
広島事務所

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 大藪俊治 ㊟

業務執行社員 公認会計士 日浦祐介 ㊟

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社秋川牧園の2020年4月1日から2021年3月31日までの第42期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正

又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるか

どうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告 謄本

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2020年4月1日から2021年3月31日までの第42期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び注記事項）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び注記事項）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人暁和監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人暁和監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2021年5月24日

株式会社秋川牧園 監査役会

常勤監査役 徳 光 隆 司 ㊟  
(社外監査役)

社外監査役 江 藤 龍 夫 ㊟

社外監査役 宇 佐 美 理 世 ㊟

以 上

## 株主総会参考書類

### 議案及び参考事項

#### 第1号議案 剰余金処分の件

剰余金処分につきましては、次のとおりといたしたいと存じます。

##### 期末配当に関する事項

当社は、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

第42期の期末配当につきましては、当期の業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしまして以下のとおりといたしたいと存じます。

- ① 配当財産の種類  
金銭といたします。
- ② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金10円といたしたいと存じます。  
なお、この場合の配当総額は、41,691,230円となります。
- ③ 剰余金の配当が効力を生じる日  
2021年6月30日といたしたいと存じます。

#### 第2号議案 当社と有限会社あきかわ牛乳との合併契約承認の件

##### 1. 合併を行う理由

有限会社あきかわ牛乳は、当社の連結子会社であり完全子会社です。今般、当社を存続会社とし、同社を吸収合併することで、当社グループにおける経営の効率化及び組織運営の強化を図るものであります。

なお、本合併に伴い、当社においては合併差損が生じることが見込まれるため、会社法第796条第2項ただし書及び第795条第1項の規定により本合併に係る合併契約のご承認をお願いするものであります。

##### 2. 合併契約の内容の概要

当社と有限会社あきかわ牛乳が締結した合併契約の内容は、次のとおりであります。

## 合併契約書（写）

株式会社秋川牧園（以下「甲」という。）及び有限会社あきかわ牛乳（以下「乙」という。）とは本日付で、両社の合併に関し、次のとおり合併契約を締結する。

（合併の形式）

第1条 甲及び乙は、甲を存続会社、乙を消滅会社として吸収合併する。

2 吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の商号及び住所は、次のとおりである。

甲 吸収合併存続会社

商号 株式会社秋川牧園

住所 山口市仁保下郷10317番地

乙 吸収合併消滅会社

商号 有限会社あきかわ牛乳

住所 山口市仁保下郷1935番地

（交付する金銭等）

第2条 甲は、前条に基づく吸収合併（以下「本吸収合併」という。）において、乙の株式の全部を所有しているので、乙の株主に対する甲の株式の交付及び割当ては行わない。

（資本金及び準備金等）

第3条 本件合併による甲の資本金及び準備金等の額の変動は、次のとおりとする。

(1) 資本金の額 増加しない

(2) 資本準備金の額 増加しない

(3) 利益準備金の額 変動しない

（効力発生日）

第4条 本件合併の効力発生日は、令和3年7月1日とする。ただし、合併手続進行上の必要性その他の事由により、必要があるときは、甲及び乙が協議のうえ、これを変更することができる。

(合併承認決議)

第5条 甲及び乙は、前条の効力発生日の前日までに、それぞれ本契約の承認及び合併に必要な事項に関する機関決定を行うことを要する。

(権利義務全部の承継)

第6条 甲は効力発生日において、乙の従業員全員、資産及び負債その他一切の権利義務を承継する。

2 甲が乙から承継した従業員の勤続年数については、乙における年数を通算する。その他細目については甲及び乙が協議して定める。

(会社財産の善管注意義務)

第7条 甲及び乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで善良なる管理者の注意をもってそれぞれ業務を執行し、かつ一切の財産管理の運営をするものとし、その資産、負債及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲及び乙が協議のうえこれを実行する。

(合併条件の変更、合併契約の解除)

第8条 本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間において、天災地変その他の事由により、甲または乙の資産または経営状態に重要な変動を生じたときは、甲及び乙が協議のうえ合併条件を変更し、または本契約を解除することができる。

(本契約の効力)

第9条 本契約は、各契約当事者の適法な機関決定による承認が得られなかった場合又は本契約について必要な法令に基づく関係官庁等の承認や許認可等が得られなかった場合は、その効力を失う。

(本契約規定以外の事項)

第10条 本契約に定めるもののほか、本件合併に関し必要な事項は本契約の趣旨に従って甲及び乙が協議のうえこれを決定する。

以 上

本契約の成立を証するため、契約書1通を作成し、甲が原本を乙は写しを保有する。

令和3年5月14日

(甲) 山口市仁保下郷10317番地  
株式会社秋川牧園  
代表取締役社長 秋川 正 ㊟

(乙) 山口市仁保下郷1935番地  
有限会社あきかわ牛乳  
代表取締役 秋川 健 ㊟

### 3. 会社法施行規則第191条に定める事項の内容の概要

#### ① 対価の相当性に関する事項

有限会社あきかわ牛乳は当社の完全子会社であるため、本合併に際して、当社は株式その他の対価の交付は行いません。また、本合併による当社の資本金及び準備金の額の増加はありません。

#### ② 有限会社あきかわ牛乳の最終事業年度に係る計算書類等の内容

有限会社あきかわ牛乳の最終事業年度の計算書類等は、次頁以降の有限会社あきかわ牛乳の計算書類等に記載のとおりです。

#### ③ 当社及び有限会社あきかわ牛乳の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分等に関する事項

該当事項はありません。

(有限会社 あきかわ牛乳の計算書類等)

## 貸借対照表

(2020年12月31日現在)

有限会社 あきかわ牛乳

(単位：千円)

| 科 目            | 金 額              | 科 目                    | 金 額              |
|----------------|------------------|------------------------|------------------|
| (資産の部)         |                  | (負債の部)                 |                  |
| <b>【流動資産】</b>  | <b>【 37,805】</b> | <b>【流動負債】</b>          | <b>【 74,275】</b> |
| 現 金            | 23               | 買 掛 金                  | 7,950            |
| 預 金            | 20,245           | 短 期 借 入 金              | 50,000           |
| 売 掛 金          | 10,790           | 1年内返済予定長期借入金           | 8,857            |
| 棚 卸 資 産        | 5,083            | 未 払 金                  | 4,056            |
| 仮 払 金          | 11               | 未 払 費 用                | 1                |
| 前 払 費 用        | 63               | 預 り 金                  | 214              |
| 未 収 入 金        | 99               | 未 払 法 人 税 等            | 182              |
| 立 替 金          | 757              | 設 備 未 払 金              | 3,012            |
| 仮 払 消 費 税 等    | 731              |                        |                  |
| <b>【固定資産】</b>  | <b>【100,778】</b> | <b>【固定負債】</b>          | <b>【 51,073】</b> |
| (有形固定資産)       | (100,088)        | 長 期 借 入 金              | 51,023           |
| 建 物            | 20,734           | 退 職 給 付 引 当 金          | 50               |
| 建 物 付 属 設 備    | 3,046            | <b>負 債 合 計</b>         | <b>125,349</b>   |
| 構 築 物          | 775              | (純資産の部)                |                  |
| 機 械 装 置        | 17,780           | <b>【株主資本】</b>          | <b>【 13,234】</b> |
| 車 両 運 搬 具      | 3,600            | 資 本 金                  | 50,000           |
| 工 具 器 具 備 品    | 2,206            | (利 益 剰 余 金)            | ( △36,765)       |
| 一 括 償 却 資 産    | 402              | 利 益 準 備 金              | 2,700            |
| 土 地            | 51,541           | そ の 他 利 益 剰 余 金        | △39,465          |
| (投資その他の資産)     | ( 690)           | 別 途 積 立 金              | 8,800            |
| 出 資 金          | 365              | 繰 越 利 益 剰 余 金          | △48,265          |
| 長 期 前 払 費 用    | 275              | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>13,234</b>    |
| 長 期 差 入 保 証 金  | 50               | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>138,583</b>   |
| <b>資 産 合 計</b> | <b>138,583</b>   |                        |                  |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 損 益 計 算 書

( 2020年1月1日から  
2020年12月31日まで )

有限会社 あきかわ牛乳

(単位：千円)

| 科 目                  | 金       | 額       |
|----------------------|---------|---------|
| <b>【 売 上 高 】</b>     |         |         |
| 牛 乳 売 上 高            |         | 117,062 |
| <b>【 売 上 原 価 】</b>   |         |         |
| 当期製品製造原価             | 130,032 | 130,032 |
| 売上総損失金額              |         | 12,970  |
| <b>【販売費及び一般管理費】</b>  |         | 2,389   |
| 営業損失金額               |         | 15,359  |
| <b>【 営 業 外 収 益 】</b> |         |         |
| 受 取 利 息              | 0       |         |
| 受 取 配 当 金            | 4       |         |
| 雑 収 入                | 1,070   | 1,074   |
| <b>【 営 業 外 費 用 】</b> |         |         |
| 支 払 利 息 割 引 料        | 740     |         |
| 雑 損 失                | 718     | 1,458   |
| 経常損失金額               |         | 15,743  |
| <b>【 特 別 損 失 】</b>   |         |         |
| 固定資産除却損              |         | 0       |
| 税引前当期純損失金額           |         | 15,743  |
| 法人税、住民税及び事業税         |         | 183     |
| 当期純損失金額              |         | 15,926  |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 株主資本等変動計算書

( 2020年1月1日から  
2020年12月31日まで )

有限会社 あきかわ牛乳

(単位：千円)

|               | 株 主 資 本 |           |                 |                  |                       | 利益剰余金合計 |
|---------------|---------|-----------|-----------------|------------------|-----------------------|---------|
|               | 資 本 金   | 利 益 剰 余 金 |                 |                  |                       |         |
|               |         | 利益準備金     | そ の 他 利 益 剰 余 金 |                  |                       |         |
|               |         |           | 別途積立金           | 繰<br>越<br>剰<br>余 | 繰<br>越<br>利<br>益<br>金 |         |
| 当 期 首 残 高     | 50,000  | 2,700     | 8,800           | △32,338          | △20,838               |         |
| 当 期 変 動 額     |         |           |                 |                  |                       |         |
| 当 期 純 損 失     |         |           |                 | 15,926           | 15,926                |         |
| 当 期 変 動 額 合 計 | —       | —         | —               | △15,926          | △15,926               |         |
| 当 期 末 残 高     | 50,000  | 2,700     | 8,800           | △48,265          | △36,765               |         |

|               | 株 主 資 本 | 純 資 産 合 計 |
|---------------|---------|-----------|
|               | 株主資本合計  |           |
| 当 期 首 残 高     | 29,161  | 29,161    |
| 当 期 変 動 額     |         |           |
| 当 期 純 損 失     | 15,926  | 15,926    |
| 当 期 変 動 額 合 計 | △15,926 | △15,926   |
| 当 期 末 残 高     | 13,234  | 13,234    |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法
  - (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
定額法
  - (3) 消費税等の会計処理  
税抜方式によっております。
  
2. 株主資本等変動計算書に関する注記
  - (1) 当事業年度末における発行済株式の数  
普通株式 5,000株
  - (2) 剰余金の配当に関する事項  
該当事項はありません。
  
3. 1株当たり情報に関する注記

|            |           |
|------------|-----------|
| 1株当たり純資産額  | 2,646.90円 |
| 1株当たり当期純損失 | 3,185.35円 |

以上



## 株主総会会場ご案内図

セントコア山口 2階 サファイア  
山口県山口市湯田温泉3丁目2番7号  
電話 083-922-0811

会場が前回と異なっておりますので、お間違えのないようご注意ください。



- 中国自動車道小郡ICより車で20分／湯田温泉駅より徒歩20分
- 湯田温泉バス停より徒歩6分／駐車場70台無料（先着順）

※本年も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、株主総会終了後のグループ集会及びお土産については中止いたします。

# 第42回定時株主総会招集ご通知に際しての

## インターネット開示事項

### 第 4 2 期

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

#### 連結計算書類の注記事項

#### 計算書類の注記事項

法令及び当社定款第14条の規定により、上記の事項につきましては、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.akikawabokuen.com/>) に掲載することにより、株主の皆様提供しております。

株式会社 秋川牧園

## 注記事項

### 1. 連結計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 連結の範囲に関する事項

##### ① 連結子会社の状況

- ・連結子会社の数 6社
  - ・連結子会社の名称  
(有)あきかわ牛乳  
(有)篠目三谷  
(株)ゆめファーム  
(有)菊川農場  
(株)チキン食品  
(有)むつみ牧場
- ② 非連結子会社の状況 該当事項はありません。

#### (2) 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

#### (3) 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は以下のとおりであります。

|           |        |
|-----------|--------|
| (有)あきかわ牛乳 | 12月31日 |
| (有)篠目三谷   | 12月31日 |
| (株)ゆめファーム | 12月31日 |
| (有)菊川農場   | 1月31日  |
| (株)チキン食品  | 1月31日  |
| (有)むつみ牧場  | 2月28日  |

連結計算書類の作成に当たっては、同事業年度の末日現在の計算書類を使用しております。ただし、各社事業年度の末日から連結会計年度末日3月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

#### (4) 会計方針に関する事項

##### ① 重要な資産の評価基準及び評価方法

##### イ. その他有価証券

- ・時価のあるもの 連結会計年度末の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定）
- ・時価のないもの 移動平均法による原価法

- ロ. たな卸資産
- ・製品・仕掛品 主として総平均法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
  - ・商品・原材料(包装材料等を除く)主として先入先出法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
  - ・貯蔵品・その他原材料 最終仕入原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- ② 重要な減価償却資産の減価償却の方法
- イ. 有形固定資産 定率法  
(リース資産を除く) ただし、採卵施設、原乳生産施設等及び1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、動物(採卵用鶏)については採卵期間にわたる日割償却を採用しております。
- なお、主な耐用年数は、建物15年～38年、構築物10年～15年、機械装置7年～10年であります。
- ロ. 無形固定資産 定額法  
(リース資産を除く) なお、自社利用ソフトウェアの耐用年数は、5年であります。
- ハ. リース資産 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- ③ 重要な引当金の計上基準
- イ. 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

- ロ. 賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、夏季賞与支給見込額のうち、当連結会計年度に対応する額を計上しております。
- ハ. 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。
- ④ その他連結計算書類作成のための重要な事項
- イ. 退職給付に係る会計処理の方法 当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
- ロ. 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

(5) のれんの償却に関する事項

のれんの償却について、(有)篠目三谷は15年間での均等償却を行っております。

2. 表示方法の変更に関する注記

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当連結会計年度の年度末に係る連結計算書類から適用し、連結計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

3. 会計上の見積りに関する注記

(1) 繰延税金資産

① 当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額

|        | 当連結会計年度   |
|--------|-----------|
| 繰延税金資産 | 100,260千円 |

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

繰延税金資産の回収可能性の判断にあたっては、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針(企業会計基準適用指針第26号 2020年3月31日)」に基づいて企業の分類を行い、繰延税金資産は、将来の課税所得見込額、期末における将来減算一時差異のスケジューリング等を考慮して、将来減算一時差異が解消されるときに課税所得を減少させ、税金負担額を軽減することができると認められる範囲内で計上しております。繰延税金資産は、決算日において国会で成立している税率に基づいて、当該資産が実現される年度に適用されると予想される税率により算定しております。

将来の課税所得については、過去の業績や近い将来に経営環境に著しい変化が見込まれないかなどを勘案し、将来一定水準の課税所得が生じると見込んでいますが、課税所得が生じる時期及び金額は、その時の業績や将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、また、業績の悪化等により企業の分類の変更となった場合は、翌期の連結計算書類において認識する繰延税金資産や法人税等調整額の金額に重要な影響を与える可能性があります。

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響

新型コロナウイルス感染症の収束時期などを想定することは困難であるものの、現時点で同感染症による当社事業への影響は軽微であるため、翌連結会計年度以後の業績に与える影響は限定的であると仮定して繰延税金資産等の会計上の見積りを行っております。

4. 連結貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 3,196,026千円

(2) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産

建物及び構築物 105,528千円

土 地 159,862千円

---

計 265,390千円

② 担保に係る債務

短期借入金 300,000千円

短期借入金（1年内返済予定の長期借入金） 87,008千円

長期借入金 294,650千円

---

計 681,658千円

## 5. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首の株式数 | 当連結会計年度増加株式数 | 当連結会計年度減少株式数 | 当連結会計年度末の株式数 |
|-------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 普通株式  | 4,179千株       | 一千株          | 一千株          | 4,179千株      |

### (2) 自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首の株式数 | 当連結会計年度増加株式数 | 当連結会計年度減少株式数 | 当連結会計年度末の株式数 |
|-------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 普通株式  | 9,877株        | 一株           | 一株           | 9,877株       |

### (3) 剰余金の配当に関する事項

#### ① 配当金支払額等

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2020年6月23日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 20,845         | 5               | 2020年3月31日 | 2020年6月24日 |

② 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度になるもの

| 決議予定                 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2021年6月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 利益剰余金 | 41,691         | 10              | 2021年3月31日 | 2021年6月30日 |

## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取組方針

当社グループは、必要に応じて短期的な運転資金や設備資金などを銀行借入により調達しております。また、一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

#### ② 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である受取手形及び売掛金、及び未収入金は顧客の信用リスクに晒されております。

投資有価証券は、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、市場価格の変動リスクに晒されております。

長期貸付金は、取引先等に対するものであり、相手先の信用リスクに晒されております。営業債務である支払手形及び買掛金は、そのほとんどが2ヶ月以内の支払期日であります。

借入金及びファイナンス・リース取引に係るリース債務は、主に運転資金及び設備投資に係る資金調達を目的としたものであります。返済は最長で決算日後14年であり、金利の変動リスクに晒されております。

③ 金融商品に係るリスク管理体制

イ. 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社グループは、営業債権及び長期貸付金について、営業部及び経営管理部等が各取引先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、各取引先の状況を定期的にモニタリングし、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

ロ. 市場リスク（金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に時価や発行体（取引先企業）の財務状況等を把握しております。

ハ. 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社グループは、手許流動性の維持などにより流動性のリスクを管理しております。

④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。（（注）2. 参照）

|                 | 連結貸借対照表計上額<br>(千円) | 時 価<br>(千円) | 差 額<br>(千円) |
|-----------------|--------------------|-------------|-------------|
| (1) 現金及び預金      | 926,888            | 926,888     | —           |
| (2) 受取手形及び売掛金   | 702,967            | 702,967     | —           |
| (3) 未収入金        | 119,352            | 119,352     | —           |
| (4) 投資有価証券      | 134,936            | 134,936     | —           |
| (5) 長期貸付金       | 8,191              | 8,194       | 3           |
| 資産計             | 1,892,336          | 1,892,340   | 3           |
| (1) 支払手形及び買掛金   | 399,605            | 399,605     | —           |
| (2) 短期借入金       | 1,009,341          | 1,008,779   | △561        |
| (3) リース債務（流動負債） | 7,129              | 7,099       | △29         |
| (4) 未払法人税等      | 102,757            | 102,757     | —           |
| (5) 長期借入金       | 1,119,117          | 1,114,322   | △4,794      |
| (6) リース債務（固定負債） | 21,019             | 20,784      | △234        |
| 負債計             | 2,658,970          | 2,653,350   | △5,619      |

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金、(3) 未収入金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

この時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は取引金融機関から提示された価格によっております。

(5) 長期貸付金

時価は、元利金の合計額を、同様の新規貸付を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

負 債

(1) 支払手形及び買掛金、(2) 短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を除く）、

(4) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 短期借入金（1年内返済予定の長期借入金）、(3) リース債務（流動負債）、(5) 長期借入金、(6) リース債務（固定負債）

これらの時価は、元利金の合計額を、同様の新規借入又はリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

2. 非上場株式（連結貸借対照表計上額17,714千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

7. 賃貸等不動産に関する注記

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

8. 1株当たり情報に関する注記

|                |         |
|----------------|---------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 460円17銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 40円77銭  |

9. 重要な後発事象に関する注記

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2021年5月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社である有限会社あきかわ牛乳を、定時株主総会で承認することを前提に、吸収合併することを決議いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

i. 結合当事企業の名称

(結合企業) 株式会社秋川牧園

(被結合企業) 有限会社あきかわ牛乳

ii. 事業の内容

- (結合企業) 食品の製造、販売
- (被結合企業) 牛乳及び乳製品の加工、販売

② 企業結合日

2021年7月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式であり、有限会社あきかわ牛乳は合併により解散いたします。

④ 結合後企業の名称

株式会社秋川牧園

⑤ その他取引の概要に関する事項

有限会社あきかわ牛乳は、当社100%子会社として、主に牛乳及び乳製品の加工・販売を行ってまいりましたが、事業規模や組織体制を鑑み、当社グループにおける経営の効率化および組織運営の強化を目的に、吸収合併することといたしました。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。

## 注記事項

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 子会社株式

移動平均法による原価法

##### ② その他有価証券

・時価のあるもの

事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

・時価のないもの

移動平均法による原価法

##### ③ たな卸資産

・製品・仕掛品

総平均法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

・商品・原材料(包装材料等を除く)

先入先出法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

・貯蔵品・その他原材料

最終仕入原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

（リース資産を除く）

定率法

ただし、採卵施設、原乳生産施設及び1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、動物（採卵用鶏）については採卵期間にわたる日割償却を採用しております。

なお、主な耐用年数は、建物15年～38年、構築物10年～15年、機械装置7年～10年であります。

##### ② 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用ソフトウェアの耐用年数は5年あります。

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、夏季賞与支給見込額のうち当事業年度に対応する額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度の末日における退職給付債務に基づき計上しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度の年度末に係る計算書類から適用し、計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

3. 会計上の見積りに関する注記

(1) 繰延税金資産

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

|        | 当事業年度    |
|--------|----------|
| 繰延税金資産 | 94,784千円 |

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

①の金額の算出方法は、連結計算書類「注記事項 3. 会計上の見積りに関する注記 (1) 繰延税金資産」の内容と同一であります。

(2) 子会社への貸付金に係る貸倒引当金

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

|              | 当事業年度    |
|--------------|----------|
| 貸倒引当金 (子会社分) | 32,682千円 |

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は、子会社に対して貸付を行っておりますが、一部の子会社の財政状態が悪化したことにより、貸倒引当金を計上しております。

貸倒引当金は、当該子会社の実質債務超過相当分を回収不能であると見積って計上しております。

当該子会社の今後の業績の推移によっては回収可能性に関して見直しを行う必要が生じ、計上すべき貸倒引当金の変動し将来の計算書類に影響を与える可能性があります。

(3) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響

連結計算書類「注記事項 3. 会計上の見積りに関する注記 (2) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響」の内容と同一であります。

#### 4. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産

|    |           |
|----|-----------|
| 建物 | 73,981千円  |
| 土地 | 159,862千円 |
| 計  | 233,844千円 |

② 担保に係る債務

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| 短期借入金             | 300,000千円 |
| 1年内返済予定の長期借入金     | 85,008千円  |
| 長期借入金             | 294,150千円 |
| 子会社の1年内返済予定の長期借入金 | 2,000千円   |
| 子会社の長期借入金         | 500千円     |
| 計                 | 681,658千円 |

- (2) 有形固定資産の減価償却累計額 2,056,821千円
- (3) 保証債務  
 子会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。
- |           |           |
|-----------|-----------|
| (有)あきかわ牛乳 | 50,000千円  |
| (有)篠目三谷   | 32,000千円  |
| (有)菊川農場   | 519,785千円 |
| (株)チキン食品  | 114,480千円 |
| (有)むつみ牧場  | 30,000千円  |
| 計         | 746,265千円 |
- (4) 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。
- |          |           |
|----------|-----------|
| ① 短期金銭債権 | 467,868千円 |
| ② 長期金銭債権 | 236,698千円 |
| ③ 短期金銭債務 | 319,286千円 |
- (5) 取締役及び監査役との間の取引による取締役及び監査役に対する金銭債権の総額 5,527千円

## 5. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

- |              |           |
|--------------|-----------|
| ① 売上高        | 106,853千円 |
| ② 仕入高等       | 949,202千円 |
| ③ 営業取引以外の取引高 | 53,199千円  |

## 6. 株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の数に関する事項

| 株 式 の 種 類 | 当事業年度期首の株式数 | 当事業年度増加株式数 | 当事業年度減少株式数 | 当事業年度末の株式数 |
|-----------|-------------|------------|------------|------------|
| 普 通 株 式   | 9,877株      | 一株         | 一株         | 9,877株     |

## 7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|              |  |         |
|--------------|--|---------|
| 繰延税金資産       |  |         |
| 有償支給未実現利益    |  | 1,281千円 |
| たな卸資産評価損     |  | 600     |
| 賞与引当金        |  | 10,563  |
| 未払事業税        |  | 5,552   |
| 未払金          |  | 20,054  |
| 関係会社株式評価損    |  | 15,898  |
| 退職給付引当金      |  | 79,021  |
| 役員退職慰労引当金    |  | 19,985  |
| 減損損失         |  | 8,381   |
| 貸倒引当金        |  | 11,002  |
| その他          |  | 4,366   |
| 繰延税金資産小計     |  | 176,708 |
| 評価性引当額       |  | △52,343 |
| 繰延税金資産合計     |  | 124,365 |
| 繰延税金負債       |  |         |
| その他有価証券評価差額金 |  | △29,580 |
| 繰延税金負債合計     |  | △29,580 |
| 繰延税金資産の純額    |  | 94,784  |

## 8. リースにより使用する固定資産に関する注記

該当事項はありません。

## 9. 関連当事者との取引に関する注記

子会社及び関連会社等

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地    | 資本金又は出資金(千円) | 事業の内容又は職業 | 議決権等の所有(被所有)割合(%) | 関連当事者との関係      | 取引の内容(注1) | 取引金額(千円) | 科目        | 期末残高(千円) |
|-----|------------|--------|--------------|-----------|-------------------|----------------|-----------|----------|-----------|----------|
| 子会社 | 南あきかわ牛乳    | 山口県山口市 | 50,000       | 牛乳の製造     | (所有)直接100         | 牛乳の仕入<br>役員の兼任 | 債務保証(注3)  | 50,000   | —         | —        |
|     |            |        |              |           |                   |                | 資金の回収(注2) | 8,723    | 短期貸付金     | 8,857    |
|     |            |        |              |           |                   |                | 資金の貸付(注2) | 20,000   | 長期貸付金(注5) | 48,809   |
|     |            |        |              |           |                   |                | 利息の受取(注2) | 385      | —         | —        |

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地        | 資本金又は出資金(千円) | 事業の容業<br>内又は職業 | 議決権等の所有<br>(被所有)割合(%) | 関連当事者との関係              | 取引の内容<br>(注1)    | 取引金額<br>(千円) | 科目    | 期末残高<br>(千円) |
|-----|------------|------------|--------------|----------------|-----------------------|------------------------|------------------|--------------|-------|--------------|
| 子会社 | 南篠目三谷      | 山口県<br>山口市 | 10,000       | 鶏卵の<br>生産      | (所有)<br>直接49          | 鶏卵の<br>仕入<br>役員の<br>兼任 | 債務保証<br>(注3)     | 32,000       | —     | —            |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 資金の回収<br>(注2)    | 12,499       | 短期貸付金 | 12,499       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 資金の貸付<br>(注2)    | —            | 長期貸付金 | 39,166       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 利息の受取<br>(注2)    | 725          | —     | —            |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 原材料の有償支給<br>(注4) | 324,417      | 未収入金  | 97,967       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 仕掛品の有償仕入<br>(注4) | 445,445      | 買掛金   | 42,500       |
| 子会社 | 南菊川農場      | 山口県<br>下関市 | 3,000        | 若鶏の<br>生産      | (所有)<br>直接100         | 生鳥の<br>仕入<br>役員の<br>兼任 | 債務保証<br>(注3)     | 519,785      | —     | —            |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 資金の回収<br>(注2)    | 14,999       | 短期貸付金 | 14,999       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 資金の貸付<br>(注2)    | —            | 長期貸付金 | 50,000       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 利息の受取<br>(注2)    | 518          | —     | —            |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 原材料の有償支給<br>(注4) | 745,722      | 未収入金  | 88,150       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 仕掛品の有償仕入<br>(注4) | 964,182      | 買掛金   | 53,354       |
| 子会社 | 県チキン食品     | 山口県<br>山口市 | 60,000       | 生鳥の<br>処理      | (所有)<br>直接100         | 生鳥の<br>処理<br>役員の<br>兼任 | 債務保証<br>(注3)     | 114,480      | —     | —            |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 資金の回収<br>(注2)    | 4,999        | 短期貸付金 | 4,999        |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 資金の貸付<br>(注2)    | —            | 長期貸付金 | 20,000       |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 利息の受取<br>(注2)    | 418          | —     | —            |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 原材料の有償支給<br>(注4) | 1,661,073    | 未収入金  | 166,484      |
|     |            |            |              |                |                       |                        | 仕掛品の有償仕入<br>(注4) | 2,068,077    | 買掛金   | 199,021      |

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地   | 資本金又は出資金(千円) | 事業の内容及び職業 | 議決権等の所有(被所有)割合(%) | 関連当事者との関係    | 取引の内容(注1) | 取引金額(千円) | 科目        | 期末残高(千円) |
|-----|------------|-------|--------------|-----------|-------------------|--------------|-----------|----------|-----------|----------|
| 子会社 | 南むつみ牧場     | 山口県萩市 | 3,000        | 原乳の生産     | (所有)直接48          | 原材料の有償支給役員兼任 | 債務保証(注3)  | 30,000   | —         | —        |
|     |            |       |              |           |                   |              | 資金の回収(注2) | 6,499    | 短期貸付金     | 8,444    |
|     |            |       |              |           |                   |              | 資金の貸付(注2) | 30,000   | 長期貸付金(注5) | 76,347   |
|     |            |       |              |           |                   | 利息の受取(注2)    | 540       | —        | —         |          |

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

1. 子会社との取引金額には消費税等が含まれておりませんが、期末残高には消費税等が含まれております。
2. 資金の貸付については、市場金利を勘案した合理的な利率を設定しており、貸付期間や返済方法については両者協議の上、貸付条件を決定しております。なお、(南篠目三谷に対する貸付金の担保として、不動産に抵当権を設定しております。
3. (南あきかわ牛乳の銀行借入 (50,000千円、期限2022年3月)、(南篠目三谷の銀行借入 (32,000千円、期限2023年1月)、(南菊川農場の銀行借入 (519,785千円、期限2035年7月)、(南チキン食品の銀行借入 (114,480千円、期限2030年9月) 及び、(南むつみ牧場の銀行借入 (30,000千円、期限2021年12月) につき債務保証を行ったものであります。なお、保証料の受領は行っておりません。
4. 原材料の有償支給及び仕掛品の有償仕入取引については、各子会社における製造原価の状況を勘案し、双方協議の上、決定しております。
5. 長期貸付金に対し、合計32,682千円の貸倒引当金を計上しております。また、当事業年度において、合計32,682千円の貸倒引当金繰入額を計上しております。

#### 10. 1株当たり情報に関する注記

- |                |         |
|----------------|---------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 425円76銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 34円38銭  |

#### 11. 重要な後発事象に関する注記

連結計算書類「注記事項 9. 重要な後発事象に関する注記」に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。